



今年を振り返り、次の挑戦につなげる



校長 大野 郁子

師走を迎え、今年一年を振り返る季節となりました。子どもたちには、年度当初から、「目標を明確にもち、常に意識することの大切さ」について話をしてきました。目標は、努力の方向を示す道標です。小さな目標でも、自分で決めて取り組むことで、達成したときの喜びや自信につながります。しかし、目標に向かう過程では、思うようにいかないこともあります。そこで必要なのが「振り返り」です。うまくいったこと、うまくいかなかったことを見つめ直すことで、次の一步が見えてきます。失敗は決して終わりではなく、成長のための大切な材料です。

2学期に、6年生がキャリア教育で、様々な体験活動をしたり、様々な方から人生の体験をお聴きしたりしました。その中に、次のような言葉がありました。

「失敗はチャンス」 ほなりがま（国上で穂生窯を営んでいる井村詩帆さんとひろかねふみ廣兼史さんの言葉）

失敗した時は、どうしてだろうと原因を考え、それを乗り越える工夫をする。そうして成功した時ほど、喜びが大きい。だから失敗した時は、チャンスだと思う。焼き物は難しいけれど、楽しい。

楽しい気持ちがあると難しいことも乗り越えられる。



「日記を書く」 かいしゅう（世界的に活躍する書・篆刻作家の柳澤魁秀さんの言葉）

目標を明確にもち、日々振り返りをする。そして、次にどうやったらいいか考える。この積み重ねが自分を伸ばす。そのためには、日記を書くことが大切。



どちらも前向きに挑戦してこられた人だからこその言葉です。私は、子どもたちが「失敗を恐れず挑戦すること」と、大人は「子どもが安心して挑戦できる環境をつくること」が大切だと思います。今年を振り返り、新しい年に向けて、一人一人が自分の道標となる目標を立て、前向きに歩み続けていくことを願っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、今年一年の温かいご支援に心より感謝申し上げます。2026年が皆様にとって良い年でありますように。